

平成17年9月議会



★町内への大手スーパーの進出についてどうなっているのか。

立地予定の農地は県営圃場整備事業を施工済みの優良農地であり、農業振興地域の農用地区域からの除外、農林水産大臣の農地転用の許可が必要であり、岡山県の全面的な御支援を賜り中四国農政局との協議を進めてきております。新生鏡野町の雇用の確保や地域の活性化につなげるべく誘致を実現したいと考えております。

★旧鏡野町の町営住宅は老朽化が著しく修繕費もかさんでいるが今後どう考えているのか。

47戸の住宅が築26～35年を経過し修繕費等がかさみ家賃収入での経営は困難ですが、住宅の空き家募集には応募が多く、老朽化が進んでも廃止

はできません。また改築についても入居者がおられる状況では難しいと考えております。

★上齋原地区における風力発電の調査研究について結果はどうなっているのか。

平成15年の恩原高原での風況調査では風力発電に適していると結果が出ており、現在も調査を実施しております。この結果を受け、各メーカーから積極的に進めたいという申し入れもあり、町としても積極的に協力・推進をしたいと考えております。

★奥津・上齋原・富で開催した移動町長室でどのような要望が出されたのか。

建設分野では、除雪作業をこれまでどおりの対応で行ってほしい、道路整備の早期実施等、農林水産分野では、第3セクターの効率的な運営、集落営農の強化、水産施設の

活性化等、情報政策分野では、携帯電話の不感知地域の解消等、企画分野では、起業家への支援等、保健福祉分野では、高齢者グループへの援助、子育て支援の充実等、商工観光分野では、景観美をいかした遊歩道の整備等、総務分野では、行財政改革とともに健全財政に努め、地域の方が行政依存から脱却し、自立するような方策を講じてほしい等の要望が出されています。

★財政状況が厳しい折今後の行財政運営の方向についてどう考えているのか。

行財政改革推進体制として、行財政推進本部、行財政改革審議会、プロジェクトチームを設置することとしております。行財政改革に取り組む課題としては、①公共施設の管理運営の見直し②第3セクター、法人等の統廃合、整理見直し③行財政組織機構と給与、定員適正化④事務事業の再編、整理、統合⑤イベント・行事・交流事業の見直し⑥財政改革等について検討してまいりたいと考えております。

★津山総合流通センター内の鏡野町分について企業進出の

話は出ていないのか。また、現在どのような体制で企業誘致に取り組んでいるのか。

鏡野町分について現在のところ立地に至っておりませんが、津山市、岡山県、県の大阪事務所等あらゆる機関と連携をとりながら誘致を進めているところです。

★次なる合併を考えたり模索していたりするのか。

新町が発足し、10年、20年先を見据えた長期的なビジョンのもと行財政改革をやっていると考えており、次の合併は考えておりません。

★教育施設や地域の催し物等の事業や活動の統廃合、促進新設についてどう考えているのか。

重複するものについては考える必要があるが、地域に密着した祭等については継続してやり方、手法を見直すことで効果が表れるのではないかと考えております。新設はケースバイケースで考えていく必要があると考えております。

★若者の定住化について若い人が暮らしやすい対策が講じられているのか。

地域性等考慮しながら、具体的な事業展開をしていきたいと考えております。

★子育て支援の取り組みはどうなっているのか。

保育園の延長保育、また休日保育事業、育児相談等を行う子育て支援センターのような施設が必要ではないかと考えており、平成17年から5カ年の子育て支援計画の中で、積極的に子育て支援につなげるよう努力したいと考えております。

★新規事業の必要性、優先順位についてどのように進め決定をしているのか。

前年度継続事業、地域間格差の是正等がありますが、人づくり、少子化対策、企業誘致等が最優先であると考えております。

★人件費の削減についてどう考えているのか。

人件費及び定数管理の適正な運営については、行政機構改革とともに重要な課題であると考えております。

★事務費の節減について職員が認識を持ちそれに努めているのか。

行財政改革について全職員